

メキシコ金融政策(2017年8月) ～政策金利は据え置き、NAFTA 再交渉に引き続き注目～

2017年8月15日

お伝えしたいポイント

- ・ メキシコ銀行(中央銀行)は政策金利を 7.00%に据え置き
- ・ 新 NAFTA(北米自由貿易協定)の内容は当初想定よりも楽観方向へ
- ・ 8月16日からの NAFTA 再交渉が早期合意に至れば、メキシコ金融市場の見通しは明るい

＜メキシコ銀行は政策金利を 7.00%に据え置き＞

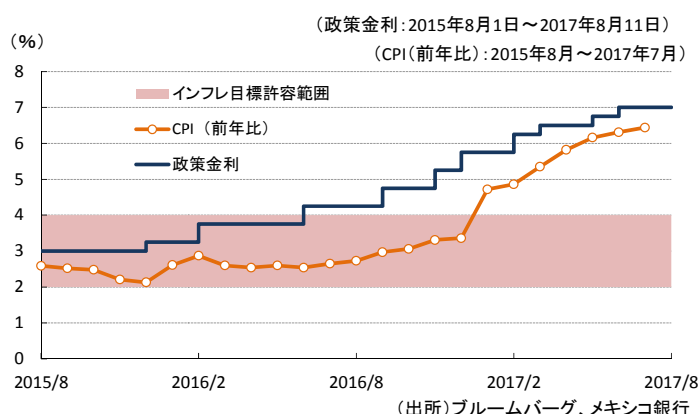
メキシコ銀行(中央銀行)は、8月10日(現地、以下同様)、市場予想通り、政策金利を 7.00%に据え置くことを決定しました。

前回の声明文では投票メンバーの 1 名だけが政策金利の据え置き支持でしたが、今回は全会一致での据え置き判断となったことから、メキシコ銀行の金融政策の中立姿勢がより強まったことがうかがえます。

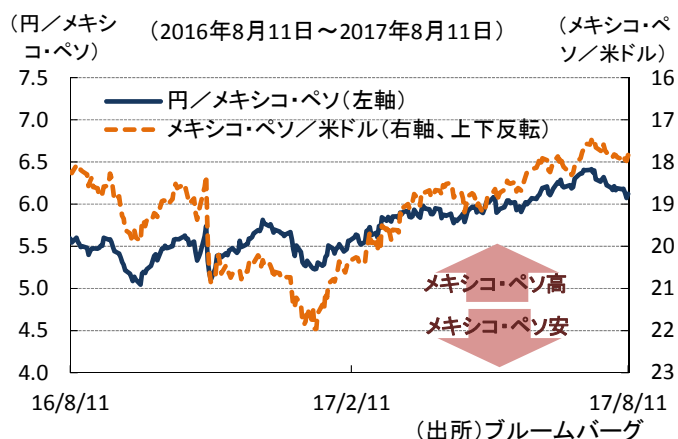
メキシコ銀行は現行の金融政策の下で、前年比 6%を超える CPI(消費者物価指数)上昇率が 2018 年末までにメキシコ銀行のインフレ目標許容範囲(3%±1%)に収まるという見通しを示しています。これまで断続的に行ってきた利上げによって中長期的なインフレ期待が落ち着きを取り戻していることが今回の据え置きの背景にあるとみられます。

当社では、メキシコ銀行の今後の金融政策について、中長期的なインフレ期待や為替動向などを注視し、中立的な金融政策を当面維持すると考えています。

《メキシコの政策金利と CPI 上昇率の推移》



《為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<新 NAFTA の内容は当初想定よりも楽観方向へ>

今後、メキシコの金融市場に影響を与える材料として、当社では NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉の行方に注目しています。NAFTA 再交渉をめぐるシナリオ次第では、メキシコへの進出を検討している海外企業の直接投資が停滞する恐れがあり、その動向には注意が必要です。

7月17日、USTR（米国通商代表部）は NAFTA 再交渉に向けた目標を発表しました。USTRは米国の貿易赤字の縮小や通貨安誘導の禁止などを目標として掲げ、メキシコにとって最も懸念されていた関税引き上げなどの項目を含めませんでした。これにより、当社は再交渉の行方として4つのシナリオ（右図）を想定していましたが、望ましくないシナリオの1つは消えたものとみています。

大手格付会社でも、NAFTA 再交渉がメキシコに大きな悪影響を与える可能性が小さくなったことなどを受けて、メキシコの格付け見通しをネガティブから安定的へと引き上げました。

<8月16日からの NAFTA 再交渉が早期合意に至れば、メキシコ金融市場の見通しは明るい>

今後考えられるシナリオでは、早期合意で新しい NAFTA が成立するシナリオが望ましいと考えています。

NAFTA 再交渉の初回会合が8月16～20日に行われます。2018年には、メキシコで大統領選挙、米国で中間選挙がそれぞれ控えており、選挙が近づくにつれて新 NAFTA の成立に必要な議会承認が難しくなることを考えると、遅くとも2018年初頭までの合意が必要とみられます。

早期合意が実現できない場合や米国が NAFTA を脱退した場合には、メキシコ金融市場に悪影響をもたらすことが予想されます。仮に米国が NAFTA を脱退した場合、米国の貿易に占めるメキシコの割合が徐々に高まっていることから、メキシコ経済だけでなく米国経済にも悪影響を与えるものとみられます。そのため、米国が NAFTA から脱退する可能性は低いとみられ、早期合意の可否が今後の注目点になると考えられます。8月16日からの再交渉が早期合意に至れば、メキシコ金融市場の見通しは明るくなるものとみています。

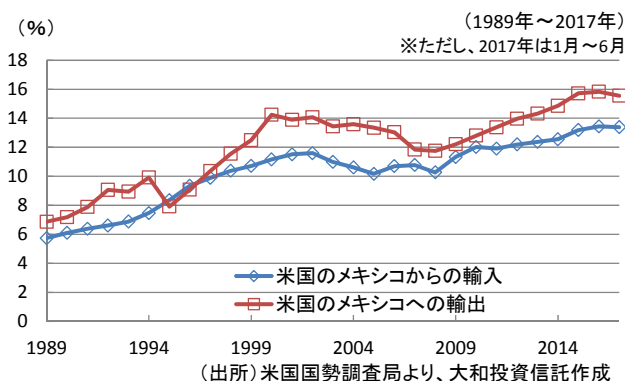
以上

《NAFTA 再交渉に関する予想シナリオ》

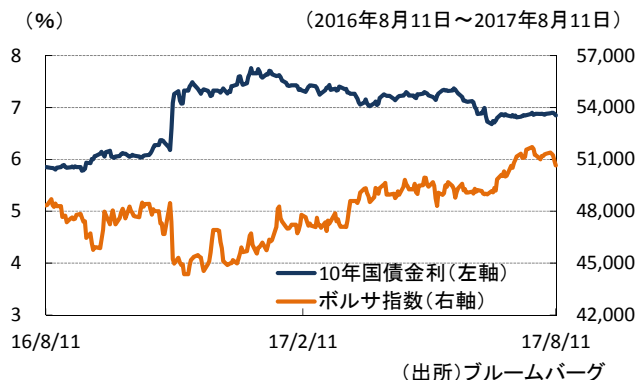
- ◆消えたとみられるシナリオ
 - ・関税引き上げを含む、新しいNAFTAが成立
- ◆今後考えられるシナリオ
 - ・早期合意で、新しいNAFTAが成立
 - ・早期合意に至らず、再交渉が長期化
 - ・米国がNAFTAから脱退



《米国の貿易に占めるメキシコの割合》



《メキシコの株価指数と国債金利の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のメキシコに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

◇マーケットレター

- ・メキシコ金融政策（2017年6月）～利上げは今回で打ち止めに視野に。今後は NAFTA 再交渉の行方に注目。～（2017/6/23）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170626_1.html
- ・メキシコ中央銀行は政策金利を引き上げ～物価上昇への対応が続く～（2017/5/19）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170519_3.html
- ・メキシコは米国に追随して利上げを実施 経済の先行きには楽観的な見方も（2017/3/31）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170331_1.html
- ・メキシコが連続利上げ～米国の政策と直接投資の停滞がメキシコ・ペソの懸念材料だが、構造改革が下支え～（2017/2/13）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170213_2.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>